

高麗郡建郡 1300 年記念事業だより

# 1300 年浪漫 ROMAN 第 7 号

編集・発行 一般社団法人高麗 1300 (高麗郡建郡 1300 年記念事業委員会)  
〒350-1231 埼玉県日高市大字鹿山 283-5-201  
電話 : 042-978-7432 / FAX : 042-978-7452 / Eメール : info@komagun.jp

2016 年 3 月 15 日

インタビュー

## 高麗郡建郡 1300 年事業

### 「応援大使」 里中満智子さん

6月には  
講演も

高麗(こま)郡建郡1300年事業の応援大使をつとめるマンガ家・里中満智子さん。昨年3月、ライフワークともいえる『天上の虹』全23巻を描き上げました。『天上の虹』は今から1300年前、天武天皇の皇后で、夫亡き後、その遺志を継いだ持統天皇の物語です。持統天皇が生きた時代は、まさに高麗郡初代郡司とされる高麗王若光(じゃっこう)が生きた時代。若光の子孫(6代目当主)、高麗神社の高麗文康宮司が、里中さんにお話をうかがいました(敬称略)。

高麗宮司(以下「宮司」) 里中さんが30年以上の年月をかけた大作『天上の虹』を読ませていただきました。物語としておもしろいだけでなく、歴史への造詣も深くて感心いたしました。持統天皇の生きた時代はどんな時代だったのでしょうか？

里中さん(以下「里中」) 国が形を成すということの大変さを、現代の私たちはつい忘れがちですが、天智天皇から天武天皇、持統天皇へと続くこの時代こそ、日本の原点だったと思います。このころは東アジア全体に勢力範囲のうごめきがありました。特に唐が強大で、周りの国々を次々と飲み込んでいきました。たとえば、唐の西側にシルクロードにつながる王国がいくつもありましたが、三蔵法師が旅に出るときにはあった高昌国が、帰り道には唐の領地になっていったというのですから、そういう時代だったのですね。

日本にとって一番衝撃が大きかったのは、唐と新羅の連合軍により百済が滅亡したことでしょう。当時の日本は、百済との関係が強かったこともあり、百済再興をかけた「白村江の戦い」に大軍を率いて駆けつけました。自衛のためもあったと思いますが、しかし日本軍は船も武器も旧式で、唐・新羅軍に太刀打ちできず、壊滅的打撃を受けて大敗します。

「自分たちもかわった戦いで、百済が完全に滅亡した。次は日本に攻めこんでくるかもしれない……」。当時の人々はその



**PROFILE** 里中 満智子(さとなか まちこ)  
マンガ家。1948年大阪生まれ。1964年高校在学時に『ピアの肖像』で第1回講談社新人漫画賞。50年間に渡り500タイトル近くの作品を描く。歴史を扱った作品も多く、持統天皇を主人公にした『天上の虹』は32年をかけて完結。2006年文部科学大臣賞、10年文化庁長官表彰、13年度古事記出版大賞太安万侶賞、14年外務大臣表彰ほか受賞。(公社)日本漫画家協会常務理事 / (一社)マンガジャパン代表 / NPOアジアマンガサミット運営本部代表 / 大阪芸術大学キャラクター造形学科学科長 / 外務省国際漫画賞審査委員長 / 手塚治虫文化賞審査委員 / 文化庁古墳壁画の保存活用に関する検討委員 / 文化庁日本遺産審査委員会委員 / 国土交通省社会資本整備審議会歴史的風土部会委員 / NHK放送文化研究会委員 / 古都保存財団理事ほか

ごい危機感を持ったでしよう。日本を守るために、「国の内部をかためること」、そして「ちゃんと外交的にやっていける国として(唐に)見せること」が急務になりました。

**宮司** 今でいえば、国連に加盟するために独立国としての条件を満たすのと同じですね。

**里中** そのために必要なものがありました。一に歴史書の編纂(へんさん)。日本には独自の歴史があることを唐に見せるためです。二に律令制を取り入れ

**対外的に通用する国づくりのための必要条件**

- 1 歴史書の編纂
- 2 国の仕組みを整える(律令制度)
- 3 役所機能を生かすための都づくり

て国の仕組みを整えること。そのためには役所が必要で、役所が機能する都づくりが必要となりました。これが三つめです。後の時代の人が、天皇が権威を高めるために庶民の苦勞もかえりみず立派な都をつくったといいますが、それどころの話ではなくて、当時の人たちは、悲壮なまでに必死だったと思います。幕末の開国と同じぐらいの、国がどうなるかという危機感だっ

たでしよう。

また、百済滅亡を目の当たりにして、最新の技術や知識の必要性を、本気で必死に考えた時代でもあったと思います。金属加工技術——仏像が如実ですが、ほかに金鉾脈の発見なども渡来系の力によるものでした。もし渡来系の人がいなかったとしたら、国づくりがそこまで進んだかどうかかわからないですよ。当時、渡来系の方たちに教わりたいたいという貴族の子弟はいっぱいいたようで、そうした記録も残っています。

**持統天皇の物語を描いた理由**

**宮司** なぜ持統天皇を主人公に描こうと思われたのですか？

**里中** 持統天皇はよく言われてはいませんでした。まず、女の天皇は飾り物だという幻想がありました。ふさわしい男性がないときの急場のつなぎだとも調べてみると、年齢的にも経験的にもふさわしい男性はほかにいたのに、おかしいと思いました。

父親が天智天皇で、夫が天武天皇。その七光りで権力を握ったとも言われていました。しかし彼女が、天智天皇から天武天皇、持統天皇まで3代かかりましたが、律令制度を完成させ、都(藤原京)をつくり、歴史書編纂も進め、すばらしい実績をあげています。そうした努力の結果、持統天皇が亡くなる寸前にやっと「国づくり、これで安心」となり、唐と外交を再開するわけですよ。

**宮司** 遣唐使が再開されたのですね。

**里中** そうです。遣唐使再開は、それほどスポットライトをあびる事例ではないかもしれませんが、日本にとつて大きなことだったと思います。何より、持統



奈良県飛鳥寺の「飛鳥大仏」は日本初の仏像(609年完成)。この仏像のために高句麗王から黄金が贈られた。仏像をつくるという金属加工技術も渡来人の協力によるものだった。飛鳥寺の植島寶照住職(左)と高麗宮司。



持統天皇(『天上の虹』より)

**持統天皇の歌**

春すぎて

夏来たるらし

白たへの

衣千したり

天の香具山

万葉集第128番

春がすぎて夏が来たらしい 真つ白な布が干してある 天の香具山に

天皇を主人公に描きたいと思っ

た最大の理由は、万葉集に残された持統天皇の歌(右参照)が、感情過多ではなく、構成力がしっかりしているからなんです。こういう人が、息子可愛さにライバルを殺すなんて馬鹿なことはいらないと思えました。

**宮司** 里中さんは万葉集がお好きなんですね。

**里中** 中学生のとき万葉集にはまりました。恋の歌がすてき

とあって。

万葉集でびっくりしたのは、「恋のためなら死んでもいい」というような歌をよむのが、女性ではなくて男性だったりすることです。「昔の日本男児は男らしかった」と思っていたので、不思議に思いました。

ほかに驚いたことがありました。万葉集では、天皇と政治犯とホームレスの歌が同列に載っているということです。思い

持統天皇の年表

孝徳天皇 (齊明天皇の弟) 645-654	645 645 645 <small>うののざらのひめみこ</small> <b>鷓野讃良皇女誕生</b> <small>なかのおおえのおうじ</small> ↳後の持統天皇。中大兄皇子の娘 大化の改新
齊明天皇 (中大兄皇子の母) 655-661	660 660 660 <small>ひやくけい</small> <b>百濟滅亡</b> 663 663 663 白村江の戦い <small>日本は、唐・新羅軍に滅ぼされた百濟の救済のために朝鮮半島の白村江へ軍を進めたが大敗。朝鮮半島進出を断念した。</small> 666 666 666 <small>じやうこう</small> <b>若光(高句麗使節団)来日</b>
天智天皇 (中大兄皇子) 668-671	668 668 668 中大兄皇子即位(天智天皇) <b>高句麗滅亡</b> 671 671 671 天智天皇没
弘文天皇 (天智天皇の息子) 671-672	672 672 672 <small>じんしん</small> <b>壬申の乱</b> <small>天智天皇の弟・大海人皇子と、天智天皇の子・大友皇子との間で起きた皇位継承問題</small>
天武天皇 (天智天皇の弟であり、持統天皇の夫) 673-686	673 673 673 <small>おほあまのおうじ</small> <b>大海人皇子即位(天武天皇)</b> 鷓野讃良皇女、皇后に 680 680 680 <b>天武天皇、薬師寺建立発願</b> <small>皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を祈願して建立を発願</small> 681 681 681 <small>くさかべのみこ</small> <b>草壁皇子立太子</b> <small>持統天皇の息子</small> 686 686 686 天武天皇没 689 689 689 草壁皇太子没
持統天皇 690-697	690 690 690 <b>鷓野讃良皇后即位(持統天皇)</b> <small>こういんねんじやく</small> <b>庚寅年籍作成</b> <small>古代日本の戸籍制度</small> 694 694 694 <b>藤原京遷都</b> <small>日本初の本格的な都。南北約4.8km、東西約5.2kmと非常に広く、中央に、政治の中心であり天皇が住む藤原宮がおかれた。東西南北に張り巡らされた道路によって街並みが基盤(ごばん)目状に区切られ、寺院や役所、市場、役人や庶民の住まいなどを計画的に配置。人口推定約3万人。</small> <b>※若光が藤原京にいた可能性あり</b>
文武天皇 (持統天皇の孫) 697-707 持統天皇は上皇として文武天皇を支える	697 697 697 持統天皇讓位 <small>かろのみこ</small> <b>珂瑠皇子即位(文武天皇)</b> 薬師寺開眼法会 701 701 701 <b>大宝律令完成</b> <small>日本史上初めて律と令が揃って成立した本格的な律令。「律」(刑法)6巻・「令」(行政法)11巻の全17巻。唐の律令を参考にしたと考えられている</small> 702 702 702 遣唐使派遣 持統天皇没 703 703 703 <b>高麗若光、王の姓を賜る</b>
元明天皇 (文武天皇の母) 707-715	
元正天皇 (氷高皇女。持統天皇の孫) 715-724	716 716 716 <b>高麗郡建郡</b>

※天皇の在位期間など年については諸説あります

を寄せる女性にふりむいてほしいという天皇の歌があったり、身分の低い女性が身分の高い男性をふる歌や、庶民の苦しみの歌なども入っています。男女や身分の区別なく、歌の良さあしでテーマ別に集めるというのは、世界的に見ても画期的なことだったのではないのでしょうか。この時代の人々はとても感情豊かで、今の私たちとなにも変わらないのだと気づきました。

それから感動したのは、都にいる人たちが、本当によく字が読めたということです。女性も字は読めるし、文も書け、漢詩からの教養もあって文学を成り立たせることができただけでなく、防人(さきもり)たちは一般の農民です。ああいう人たちが歌を残すというのもすごいこと、字が書けなくても、歌を讀み、思いを短い言葉に表現して

## どんな土地にも歴史や人々の心の積み重ねがあり、その上に、今がある

宮司 持統天皇がつくった藤原京跡から、若光と書かれた木簡が見つかっています。もし藤原京の中に若光がいたとしたら、持統天皇にお会いしていたと勝手に空想してみたいのです

宮司 私たちは今年、高麗郡建郡1300年記念を迎えるにあたり、古代の歴史ロマンを活かした地域づくりをテーマに、地域の活性化を官民一体で進めています。歴史観光について

宮司 持統天皇がいつか分かっていなくても分かっていなくても、本当に空想ですけど、もしかしたら、どういうルートで来たのか、大陸の情勢はどうなのか、持統天皇は若光に聞いていたかもしれないですね。

宮司 その場所が当時のまま残っているというのは、とても心ワクワクすることですよ。あの人もこの景色を見ていたかもしれないと思うと、すぐくうれいんです。建物には、建てようとした人の思いと、実際にそれをつくった人たちの力があって、柱にさざると、「いったい何人の人がこの柱をさわったろう」と考えます。人は亡くなっても、その思いはこの世に残って積み重なっていくと思いたい。だからゆかりの場所に行きたいという人の気持ちは

よくわかります。

高麗郡の人たちもそうですよ。高句麗から日本へ来て、苦勞の末、やっと自分たちの住む場所となる土地の上に立ったとき、「ここを拠点に頑張ろう」と夢や希望を抱いたかもしれない、これから先待ち受けているであろう苦勞を思ったかもしれない。その思いもそこに残っているわけです。高麗宮司の前にいらした 59 人のご先祖の当主と、ご先祖たちを支えた周りの人たちすべての思いがそこにあるのです。だれにとっても、1300 年はただならぬ年月なんです、その歴史を背負っていらつしやるというのは、実にすばらしいことですね。



高麗文康・高麗神社宮司と里中満智子さん

聖地と言われるところは、何かあってそこを聖地とされた人がいて、祈りをささげ、その思いがパワーみたいになって積み重なったところなんだと思います。だからパワースポットに行ったら、そこにどれくらいの歴史があって、その歴史の分だけ人々の思いが積み重なっているんだと、先人たちの思いを受け止める気持ちがあつてはじめて、そのパワーを感じることができると思っています。

宮司 本当にその通りですね。里中 私、埼玉県に住んでいますがあるんです。そのとき地名を見ると高麗川など朝鮮半島系の地名がけっこうあり、「そついでに、武蔵国(※2)のこのあたりに渡来系の人たちの住む地域があつた」と実感として思い出しました。記録として読んでいる時と、実際に近くに行くのとは違うんですね。そこに行つて初めて頭に入ってくるっていう感じでした。

埼玉には越辺川(おつpegawa)がありますよね。「男性の伝統的衣装を洗濯する川」という意味だと地元の方に聞きました。昔、渡来系の方たちがその川で

よく洗濯をしていたのかもしれない。本当は別の名前があつたでしょうが、越辺川と呼んでいるうちに定着したのでしょうか。(渡来系の方々が)いかに地域になじんでいらしたかが想像されます。

こんな風に、どんな土地にも必ず歴史の積み重ねがあります。歴史に出てくるような有名な地名が付いていないからといって、何もなかったわけではないのです。みなさんの住んでいる土地も、遠い日にだれかが何かの思いを抱いて生きていた、そんな人々の心の積み重ねの上に、今があるのだということを忘れないようにしたいですね。

※2 武蔵国 現在の東京都、埼玉県、神奈川県東部。



偶然似た読み方「氷高」皇女と「日高」市

『天上の虹』に登場する氷高皇女(ひだかのひめみこ)、後の元正天皇ですが、その元正天皇の時代(在位715年〜724年)に高麗郡が建郡されています。偶然にも日高市と読み方が似ています。

と記されているそうです。よほどきれいな方だったのだからと想像されます。一生結婚せず、役目にささげた女性です。

書には「美しい」といったことは書かれませんが、氷高皇女は「慈悲深く落ち着いた人柄であり、あてやかで美しい」



氷高皇女(『天上の虹』より)

里中満智子さんを講師に

高麗郡建 1300 年記念事業  
「第 13 回渡来人の里フォーラム」

古代史上の人物を中心に作品を描いているマンガ家の里中満智子先生をお呼びし、「古代の歴史ロマンの活かし方」を関係地域市民の方々と共に学びます。

日時：6月19日(日) 13:00 ~ 16:30

会場：日高市文化体育館ひだかアリーナ

(日高市大字南平沢 1010)

テーマ：「古代歴史ロマンで地域づくり  
～渡来から未来へ～」

- ★講演「古代女性天皇と渡来人」  
講師：マンガ家・里中満智子
- ★解説「高麗王若光の生きた時代を想像する」  
講師：高麗浪漫学会会長 高橋一夫
- ★トークセッション  
「古代歴史ロマンで地域づくりとは」  
コーディネーター：高麗文康(高麗神社宮司・高麗浪漫学会副会長)

パネリスト：里中満智子  
高橋一夫  
谷ヶ崎照雄(日高市長)  
大野松茂(一般社団法人高麗 1300・理事長)

主催：日高市、高麗郡建郡 1300 年記念事業日高市実行委員会、一般社団法人高麗 1300、高麗浪漫学会

入場無料  
定員 800 名(先着順)  
申込不要